



環境基本計画推進会議 「水と緑・安心の野洲」

市では、市民・事業者・行政の協働により進めていく環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」（愛称：えこっち・やす）を設立しています。

今回も、ニュースレターに加え、えこっち・やすの活動内容について6つのプロジェクトのうち後半3つのプロジェクトについてご紹介いたします。「やってみたい！」という活動がございましたら、ぜひ、活動にご参加ください。推進会議へのご入会もお待ちしております。

会員募集中！



プロジェクト名 みんなが親しむきれいな川づくりプロジェクト

取組み主体 里川づくり委員会・NPO 家棟川流域観光船

野洲市ほたるを復活させる会・

家棟川・童子川・中ノ池川にビワマスを戻すプロジェクト

＜活動趣旨＞川づくりの仲間を増やし、川を親しみやすく、きれいにするこゝとで、びわ湖及び河川の水質や生態系の保全を図る。

～川のごみを拾い川をきれいにする～



～ビワマスが遡上する川をつくる～

家棟川ではかつてビワマス（琵琶湖固有種でサケ科の魚類）が産卵のためにたくさん遡上していました。しかし現在は、産卵や稚魚の生活のための環境が十分ではなく、激減しています。ビワマスが遡上して産卵し、稚魚が琵琶湖に戻り、成長してまた遡上してくるような生態回廊の再生を目指して、NPO や自治会、行政、専門家、企業からなるプロジェクトを結成し活動しています。

～家棟川エコ遊覧～

櫓漕ぎの屋形舟で川を遊覧し、川の素晴らしさを体験していただく機会を提供するとともに、遊覧していただいた方にごみの多さを実際に見ていただきます。これまでに 6,000 人以上の方が乗船されました。



～生態調査～

川の生態調査を実施して、生き物の生息環境を調べています。

どんな魚が
いるかな

～野洲市内のホタルの復活を目指す～

ホタルは人と河川が共存するためのバロメータといわれている。幼虫を孵化し、地域の河川に放流しています。また、放流する河川ごとにホタルの生息環境に見合う川づくりも行っています。活動を広く知ってもらうため、観察会も開催しています。

＜問合せ＞川部会事務局：環境課 077-587-6003

プロジェクト名 里山を守り育てるプロジェクト

取組み主体 山部会

- ＜活動趣旨＞
- 1、里山や林道の保全活動
 - 2、子どもや市民が里山に親しむ活動
 - 3、里山管理の技術や山の自然を知るための森づくり塾の実施
 - 4、野洲の山を知る探索
 - 5、こうした活動で市民や企業森林組合などとの協働活動を広げ担い手を増やすことを目指して活動しています

私たち山部会は、現在31人。男性20人、女性11人で活動しています。大篠原と小堤の生産森林組合の山域をお借りして活動しています。現在の活動内容は、毎月3回の山作業と1回の野洲の山探索をします。山の整備や幼稚園児や小学生など子どもたちが山に親しんでくれるよう里山散策の催しもします。毎年2回、市民参加の春の花登山、秋の紅葉登山を開催します。市民も参加しての「森づくり塾」も年2回開催しています。



作業後の記念撮影



谷川に橋をかけます。

四季折々、里山では、山独特の植物や昆虫にも出会います。活動の中で、山の上から見る琵琶湖までの景色、比良や伊吹・鈴鹿の山々を見渡せる楽しみも素晴らしいです。

そんなに高くないけれど魅力いっぱいの里山。そんなところでの活動を、たくさんの市民の方々に体験し、楽しみながら里山を守ってゆくことの大切さを知り、参加していただきたいです。お気軽に来てください。お待ちしております。

＜問合せ＞山部会事務局：農林水産課 077-587-6004

プロジェクト名 びわ湖を守ろうプロジェクト
取組み主体 びわ湖の水と地域の環境を守る会
野洲市びわ湖を守る会

＜活動趣旨＞びわ湖環境の悪化に伴い、できるだけ多くの市民にびわ湖に親しんでいた
くため活動を行っています。

＜ヨシ群落再生＞

ヨシ群落を再生しようと、各種団体や事業所等と連携し、ヨシの植栽を行う市民参加型イベントを開催しています。イベントでは、ヨシの植栽だけでなく、湖岸の景観を保全するため、松林の保全（下草刈作業）も行っています。



＜砂浜学習会の開催＞

船に乗って川の話や環境の話を聞き、また刺網により取れた魚の生態調査を行います。その後、あやめ浜へ移動し、湖魚料理を食べながら、びわ湖の今と昔についての話を聞き学ぶ機会を提供しています。



シジミはどこかな

＜あやめ浜まっつの開催＞

あやめ浜でのシジミ採り体験、湖魚料理による食文化体験など、びわ湖に親しみながら、びわ湖について学ぶことで、水環境の保全意識の高揚を図る啓発イベントを開催しています。



＜漁民の森づくり＞

びわ湖の水の源を守るために、漁業関係者や生産森林組合と協力し、団体・企業などの参加のもと、水源となる山（大篠原地先）の植樹整備を実施しています。活動終了時には、ブラックバスのフライや地元野菜を使ったカレーをいただきました。

＜問合せ＞びわ湖を守ろうプロジェクト事務局：環境課 077-587-6003